

バスの全座席にアクリル板が設置された車内＝四日市市で



飛沫を防止し安心してご利用乗車いただけます。 飛沫防止板「おひまつくん」 バス全座席に設置!!

全座席に飛沫防止板

観光バスやタクシーなどを運行する「勢の國交通」（四日市市浜田町）は、バス専用の飛沫防止板「おひまつくん」を開発し、全座席に装着して運行している。六月以降、コロナ禍の影響で観光目的のバス運行は少なく、小川啓社長（金）は「バスの新しい乗り方を提案していったら」と意気込む。

勢の國交通

アクリル板は縦四十五センチ、横三十五センチ。客がぶつからないように、板の左右と上の部分には青い棒状のクリップを目印代わりに付けた。同社は三月から白い不織布を天井からつり下げ、対策を講じていたが、車内の見通しが悪く、客の様子も分かりづらかったことから、アクリル板を全座席に導入しようと決め

おひまつくん

バスに装着

た。アクリル板の装着が難しく、小川社長を中心に社員たちが方法を模索。両面テープやネジなどさまざまな方法を試し、座席の持ち手部分を一度外して、穴をあけた板を挟み込む方法を思い付いたという。板の製造は業者に依頼し、保有するバス二十四台の全座席に、社員が手作業で取り付けた。

売り上げは例年の半分以下で、現在は市内の企業の送迎などを中心にしているという。バスは全て窓開けが可能で、一日三回以上の消毒や換気もルールとして定める。「全国的にこの対策が常識化していけばいいと思う。厳しい状況だが、バスの安全性を知ってもらえるように努めていきたい」と小川社長は話す。（磯部愛）

（夕刊の記事を再掲します）



手作り飛沫予防ボード「おひまつくん」が完成！
アクリルボードに3方を、青いプラスチックのバーで囲い丸みをおびた形に加工し、バリもとって、安全性をアップとりつけるだけでなく、消毒作業も実施

三重テレビで
放映されました!!



勢の國交通株式会社

Senokuni kotsu Co., Ltd